

利尻島におけるハチクマの観察記録

坂井伍一

〒 006-0816 札幌市手稲区前田 6 条 9 丁目 6-8 日本野鳥の会旭川支部会員

Observational Record of Honey Buzzard, *Pernis apivorus*, from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Goichi SAKAI

A member of Asahikawa branch of Wild Bird Society of Japan, 6-8, Maeda 6-9, Teine, Sapporo, Hokkaido, 006-0816 Japan

Abstract. One male of honey buzzard, *Pernis apivorus*, was observed at Numaura, southern area in Rishiri Island, northern Hokkaido, in May 2011. This is the first record of this species from Rishiri Island.

Keywords: new record, *Pernis apivorus*, Rishiri Island

これまで利尻島からは 10 種のタカ科の記録があるが (小杉, 2000, 2012), 礼文島における 13 種 (宮本, 2012) と比すればその種数は決して多いとは言えない。2011 年 5 月に筆者を含めた 4 名は、利尻島南部に位置する沼浦地区において、ハチクマと思われる 1 個体の観察を行った。本種はこれまで同島から記録がない種であるため (小杉, 2000, 2012), ここにその詳細を報告する。

なお、本稿のとりまとめについては、小杉和樹氏 (利尻島自然情報センター)、佐藤雅彦氏 (利尻町立博物館) にお世話になった。ここに厚くお礼を申し上げます。

ハチクマ *Pernis apivorus* (Linnaeus, 1758)

観察年月日: 2011 年 5 月 23 日

観察時刻: 11:00 頃

観察場所: 利尻富士町鬼脇字沼浦, オタドマリ沼駐
車場上空

観察者: 坂井伍一・坂井俊子・大吉五夫・大吉信子

ドマリ沼に到着し、その駐車場から上空を見あげたところ、1 羽の猛禽類が頭上を旋回しながら飛んでいることに気付いた (Fig. 1)。一見、クマタカのようにも見えたが、頭部が長く突出していること、



Figure 1. *Pernis apivorus* observed at Rishiri Island in May 23, 2011.

野鳥観察のため利尻を訪れていた筆者らは、オタ

翼の後縁の膨らみが比較的少なかったこと、尾羽に太い黒帯があること、などからハチクマと判断した。さらに、体下面の色、および尾羽の2本の太い黒帯から雄中間型と思われた(森岡ほか, 1995)。本個体は、1分弱で旋回しながら上昇し、姿が見えなくなり、筆者らの観察もそこで終了となった。

ハチクマは北海道では夏鳥として飛来し(藤巻, 2010)、主に落葉広葉樹林に営巣・繁殖をしているという(藤巻, 2005)。筆者の観察でも、特に秋の渡りの時期に室蘭市測量山・地球岬ではよく見かけることがあった。道北各地からも記録があり(藤巻, 2010)、礼文島では5~7月、9月の夏期に複数の記録があるものの、繁殖は確認されておらず、旅鳥とされている(宮本, 2012)。

参考文献

藤巻裕蔵, 2005. 北海道のワシタカ類. 富士元寿

彦(編著), 原野の鷲鷹. 134-137 pp. 北海道新聞社. 札幌.

藤巻裕蔵, 2010. 北海道鳥類目録改訂3版. 極東鳥類研究会. 美唄. 74pp.

小杉和樹, 2000. 利尻島における月別鳥類出現リスト. 寺沢孝毅(編), 北海道 島の野鳥. 150-155 pp. 北海道新聞社. 札幌.

小杉和樹, 2012. 利尻島の野鳥リスト. 利尻島自然情報センター. 自刊.

宮本誠一郎, 2012. 礼文島の野鳥. レブンクル自然館. 自刊.

森岡照明・叶内拓哉・川田 隆・山形則男, 1995. 図鑑 日本のワシタカ類. 文一総合出版. 東京. 632 pp.

日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第6版. 日本鳥学会, 京都. 345 pp.